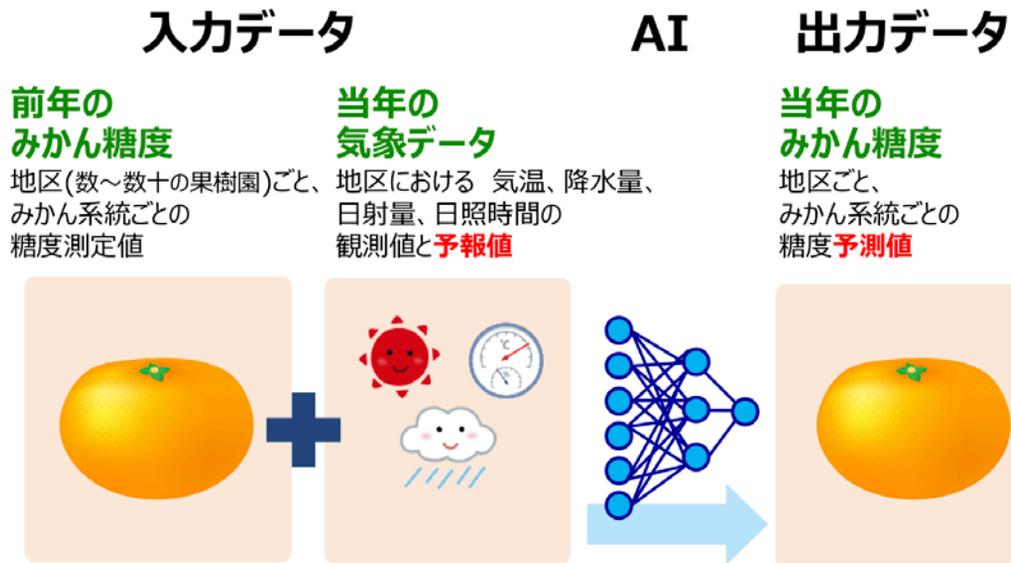


AIによる温州みかん糖度予測手法を開発 —適切な栽培管理への活用に期待—

- ・ 前年の糖度と当年の気象データ(気温、降水量、日射量、日照時間)から温州みかんの当年の糖度を地区単位で予測可能。
- ・ 機械学習用データの選択により、品種や熟期別の予測が可能。
- ・ 出荷時(10月～翌年2月)の平均糖度を、7月頃から高精度に予測。



光センサーによる果実糖度の膨大なデータを用いて学習したAIを用いて、前年の糖度と当年の気象データから、当年の出荷時の糖度を予測。気象データや生育初期の糖度から統計的な手法を用いて糖度を予測する従来法に比べて、AIを用いた本手法の方が予測精度が高い。



ながさき西海農協の光センサーによる果実糖度のデータを活用。

導入により期待される効果

収穫前に糖度を予測することで、収穫作業、販売、出荷の計画に利用が可能。また、糖度向上のための栽培管理の要否を判断することも可能となり、みかんの安定生産および品質向上に役立つことが期待される。